

朝霞市立朝霞第三中学校 2 学年 国語科 シラバス

◆国語科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

◆評価の観点

<知識・技能>

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしようとしている。(漢字、表現技法、書写、古典、情報を整理する力など)

<思考・判断・表現>

論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。(話す・聞く能力、書く能力、読む能力など)

<主体的に学習に取り組む態度>

言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている。(自らの学習を調整しようとしている態度、粘り強い取組を行おうとしている態度など)

◆主な学習内容

月	単元	教材	月	単元	教材
4	1 広がる学びへ	見えないだけ	1 0	4 人間のきずな	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字
		アイスプラネット		5 論理を捉えて	モアイは語る——地球の未来
		文法への扉1 単語をどう分ける？			適切な根拠を選んで書こう
		魅力的な提案をしよう			月夜の浜辺
5	枕草子	1 1	6 いにしえの心を訪ねる	平家物語 扇の的——「平家物語」から 仁和寺にある法師——「徒然草」から 漢詩の風景	
2 多様な視点から	クマゼミ増加の原因を探る		7 価値を語る	君は「最後の晩餐」を知っているか	
	情報を整理して伝えよう			文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。 立場を尊重して話し合おう	
6	漢字1 熟語の構成	1 2	いつも本はそばに	「自分らしさ」を認め合う社会へ	
7	3 言葉と向き合う	短歌に親しむ	1	8 表現を見つめる	走れメロス
		短歌を味わう			文法への扉3 一字違いで大違い
		言葉の力			描写を工夫して書こう
9	4 人間のきずな	類義語・対義語・多義語	2	8 表現を見つめる	言葉3 話し言葉と書き言葉
		語彙を豊かに			漢字3 送り仮名
		読書を楽しむ			国語の学びを振り返ろう
		翻訳作品を読み比べよう			鍵
9	4 人間のきずな	ヒューマノイド	3	8 表現を見つめる	鍵
		字のない葉書			
		表現を工夫して書こう			
9	4 人間のきずな	言葉2 敬語			
		聞き上手になろう			

第2学年 社会科 シラバス

1 各分野では、どんな力をつけようとしているのかな？～社会は社会人になるための学習～

◆社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

○地理的分野では、人間はどんな環境条件の下にどんな社会を築き、現代社会にはどんな社会が見られるのかについて学ぶことを通して、日本の国土や世界を認識すること。また、事象を地域的観点から考えることで空間に関わる思考を持たせるために学習するのです。そして、これらの学習を通して、地域調査など具体的な活動を通して地理的事象（生活環境や気候、地形、土地の風土や文化、風習など）に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的に考察し公正に判断する能力と態度を育てることを目指しています。

○歴史的分野では、「歴」とは過去の出来事をさし「史」はそれを記したものをいい、資料を仲立ちに過去を再構成したものが歴史です。人間は常に過去の事象を学んで、現在のある姿の由来をとらえ、未来への指針を得ているために学習するのです。そして、これらの学習を通して、具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味や関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多角的に考察し公正に判断する能力と態度を育てることを目指しています。私たちの暮らす現代社会を形成してくれた多くの「人」を学び、その功績に関心を持つことも良き社会人になるために必要な知識です。

○公民的分野では、義務教育9年にわたる社会認識の教育の成果を総合し完結させることにより、生徒一人一人が自立した社会人として生きることがするための資質の基礎を育成するために学習するのです。そして、これらの学習を通して、社会的事象を確実な資料に基づいて様々な角度から考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断する能力と態度を育てることを目指しています。

2 社会科の観点別評価

◆評価の観点

○知識・技能

我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

○思考・判断・表現

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

○主体的に学習に取り組む態度

社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

◆評価の方法

- ・発表やグループワーク等による授業への参加態度、プリント等への取り組み
- ・自分で工夫した勉強
- ・定期テスト → 問題別に点数を集計

◎ 主体的に学習に取り組む態度の評価について

主体的に学習に取り組む態度には「粘り強い取組を行おうとする側面」と「自らの学習を調整しようとする側面」があります。授業態度、提出物、テストの点数等、様々な評価資料を基に、総合的に評価をします。

4 2年生では、どんなことを学習するのかな？

月	分野	編	章	時数	
4	歴史的 分野	第4章 近世の日本	1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	9	
5			2節 江戸幕府の成立と対外政策	5	
			3節 産業の発達と幕府政治の動き	9	
6		歴史的 分野	第5章 開国と近代日本の 歩み	1節 欧米における近代化の進展	6
7				2節 欧州の進出と日本の開国	4
				3節 明治維新	9
9				4節 日清・日露戦争と近代産業	6
10		地理的 分野	第3編 日本のさまざまな地域	第1章 地域調査の手法	6
			第1章 地域調査の手法		
	第2章 日本の地域的特色と地域区分		第2章 日本の地域的特色と地域区分	11	
11	第3章 日本の諸地域		第3章 日本の諸地域	5	
			1節 九州地方		
12			2節 中国・四国地方	5	
			3節 近畿地方	5	
			4節 中部地方	5	
1			5節 関東地方	5	
		6節 東北地方	5		
2		7節 北海道地方	5		
3		第4章 地域の在り方	第4章 地域の在り方	5	

朝霞第三中学校 2 学年 数学科 シラバス (学習活動計画)

教科の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学に考える資質・能力を次の通り育成することを旨とする。

- ①数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。
- ②数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- ③数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

評価方法

「評価規準」に準じて行う。授業参加姿勢、定期テスト、提出物の状況等を総合的に評価する。

評価の観点 (評価の方法)

- ① 知識・技能 (定期テスト・授業の様子)
- ② 思考・判断・表現 (定期テスト・発言・授業の様子)
- ③ 主体的に学習に取り組む態度 (授業参加・提出物・定期テスト)

学習上の注意・助言

- ・ 聞くべき時は集中して聞く。
- ・ 忘れ物をしない。
- ・ 発表や質問を積極的にする。
- ・ 疑問に思ったことはそのままにせず質問する。
- ・ 教え合いを積極的に行う。
- ・ 普段から問題によく取り組み繰り返し練習し定着をはかる。

学習内容 (2 学年)

月		時数	学習すること
4	第1章 式の計算	1	1節 式の計算
		1	1. 単項式と多項式
		4	2. 多項式の計算
		2	3. 単項式の乗法と除法
5		2	4. 式の値
		4	2節 文字式の利用 1. 式による説明
		2	2. 等式の変形 章の問題
		6	第2章 連立方程式
6		1	1節 連立方程式とその解き方
		2	1. 連立方程式とその解
		5	2. 連立方程式の解き方
7		3	3. いろいろな連立方程式
		4	2節 連立方程式の利用 1. 連立方程式の利用 章の問題
		9	第3章 1次関数
9		1	1節 1次関数
		4	1. 1次関数
		2	2. 1次関数の値の変化
		3	3. 1次関数のグラフ
10		2	4. 1次関数を求めること
		2	2節 1次関数と方程式 1. 2元1次方程式のグラフ
		4	2. 連立方程式とグラフ 章の問題
		1	3節 1次関数の利用 1. 1次関数とみなすこと
		3	2. 1次関数のグラフの利用
		1	3. 1次関数と図形 章の問題
		11	第4章 平行と合同
11		3	1節 説明のしくみ 1. 多角形の角の和の説明
		4	2節 平行線と角 1. 平行線と角
		1	3節 合同な図形 1. 合同な図形の性質と表し方
		4	2. 三角形の合同条件
		5	3. 証明のすすめ方 章の問題
		12	第5章 三角形と四角形
		1	1節 三角形
		2	1. 二等辺三角形の性質
		2	2. 二等辺三角形になるための条件
1		3	3. 直角三角形の合同
		1	2節 平行四辺形 1. 平行四辺形の性質
		2	2. 平行四辺形になるための条件
		1	3. 特別な平行四辺形
		5	4. 平行線と面積 章の問題
		2	第6章 確率
2		3	1節 確率 1. ことからの起こりやすさ
		3	2. 確率とその求め方
		5	3. いろいろな確率
3		2	4. 確率による説明 章の問題
		3	第7章 データの比較
		4	1節 四分位範囲と箱ひげ図

第2学年 理科 シラバス

・理科の目標

- ① 基礎的・基本的な知識の定着と科学的な思考力や表現力の育成
- ② 観察・実験を通して技能の定着と主体的に調べる能力の育成

・評価の観点

- ① 主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探求するとともに、事象を人間生活とのかかわりでみようとする。
- ② 思考・判断・表現
自然の事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察・実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、表現している。
- ③ 知識・技能
自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。

・評価について

定期テストでの点数に加えて、授業・実験への参加態度、実験プリント、提出物などの平常の様子を加味して評価を出します。

・頑張っ欲しいこと

- ① 授業では…
挙手や発言をして授業に顔を上げて参加しましょう。居眠りや私語は厳禁です。ノートやプリントの記入をしっかりと進めてください。
- ② 実験や観察では…
積極的に手を出して参加すること。基本は実験班で行いますが、一人で実験をできるようにすることが目標です。
- ③ 定期テストでは…
授業ノートやプリントを中心に自分なりにまとめ直すような学習をしてください。また、教科書は必ず読みましょう。ワークは複数回利用して、知識の定着を確認しましょう。

分野	月	単元	章	時数		
1分野	4 5 6 7 8 9	1.化学 変化と 原子・ 分子 (34+1)	1章 物質のなり立ち	8		
			2章 物質どうしの化学変化	7		
			3章 酸素がかかわる化学変化	6		
			4章 化学変化と物質の質量	6		
			5章 化学変化とその利用	4		
			2分野	4 5 6 7 8 9	2.生物 のからだ のつくり とはたら き (39+1)	1章 生物と細胞
2章 動物のからだのつくりとはたらき	10					
3章 動物のからだのつくりとはたらき	11					
4章 刺激と反応	5					
2分野	10 11 12 1 2 3	3. 天気 とその 変化 (29+1)	1章 気象の観測			15
2章 雲のでき方と前線			6			
3章 大気の動きと日本の天気			9			
1分野			10 11 12 1 2 3	4. 電気 の世界 (34+1)	1章 静電気と電流	6
2章 電流の性質	14					
3章 電流と磁界	12					

令和8年度 第2学年 英語科シラバス (学習活動計画)

朝霞市立朝霞第三中学校

(1) 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(2) 年間学習活動計画

学期	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	Unit 0 My Spring Vacation 過去形の復習 Unit 1 What can we experience on a trip? 未来形の文型 SVOO SVOC Real Life English 1 機内放送	<ul style="list-style-type: none"> 過去時制を正しく運用し、自分の体験を英語で説明したり、物の様子を描写したり、行動を英語で描写できるようにする。 未来形を正しく運用し、自分の体験を英語で説明したり、物の様子を描写したり、行動を英語で描写できるようにする。 機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。
	5	Unit 2 What is local food? 接続詞を使った文型 when Real Life English 2 旅行先で	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞を正しく運用し、自分の体験を英語で説明したり、物の様子を描写したり、行動を英語で描写できるようにする。 場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。
	6	Unit 3 What kind of job are you interested in? 不定詞を使った文型 Real Life English 3 仕事についてのインタビュー	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の用法を正しく身につけ、考えを伝えたり、行動の目的を説明したり、ものを描写できるようにする。 インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ることができる。
	7	Stage Activity 1 My Favorite Japanese Food Let's Read 1 History of Clocks	<ul style="list-style-type: none"> 自分のことをよりよく知ってもらうために、いちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を書く。 説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。
	8	Unit 4 What is important in a homestay? 助動詞 have to	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞や have to の用法を正しく身につけ、考えを伝えたり、行動の目的を説明したり、ものを描写できるようにする。
	9	Real Life English 4 ホームステイのお礼状	<ul style="list-style-type: none"> お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。
	10	Unit 5 What design is good for everyone? 疑問詞 + to Real Life English 5 アナウンス・案内	<ul style="list-style-type: none"> how to の文型を身につけ、やり方説明したり、することができるようにする。 展示・販売会で流れるアナウンスやスタッフの案内を聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができる。
2 学 期			

	11	Unit 6 How can we make a good presentation? 比較級 最上級	<ul style="list-style-type: none"> 比較級の用法を正しく身につけ、考えを伝えたり、行動の目的を説明したり、ものを描写できるようにする。 クラスで人気のあるものを調べて、その結果を発表する。
	12	Real Life English 6 電車の乗りかえ	<p>題材 身近なトピックを通して、調査や発表の効果的なやり方について考える。</p> <p>活動 身近なことについて、特徴を比較しながら説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗り物での行き方をたずねたり、答えたりできるようにする。 自分の学校や学校生活について、具体例をまじえながら説明することができる。
		Stage Activity 2 My School and School Life	<ul style="list-style-type: none"> 物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができるようにする。
		Let's Read 2 A Glass of Milk	<ul style="list-style-type: none"> 受け身を用いた表現を身につけ、人やものの様子を描写したり、世界遺産などについて表現できるようにする。
3 学 期	1	Unit 7 What are World Heritage sites and their problems? 受け身	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好みや要望を伝えながら買い物をすることができる。 自分の立場を明確にして、意見を述べることができる。
	2	Real Life English 7 買い物 Stage Activity 3 Let's Have a Discussion	<ul style="list-style-type: none"> 人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができるようにする。
	3	Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet	

(3) 使用教材

教科書 NEW HORIZON (東京書籍)
ノート ベンジャミン (正進社)
問題集 英語のパートナー (正進社)

(4) 評価方法

- 定期テスト (100点満点の結果) 観点は「表現」「理解」「知識」
- 単語テスト、夏(冬)休み後の単語テスト (確認テスト)、会話テスト、スピーチ、英作文などの結果
- ノート、ワークの取り組み状況、提出状況
- 授業での取り組み (挙手、発言、英語での言語活動)
- 自己評価カード

以上の評価規準に照らし、総合的に評価・評定を行います。

(5) 生徒のみなさんへアドバイス

- 授業に集中し、挙手や発言をして積極的に英語を使うようにしましょう。英語で言えることはなるべく英語で言きましょう。
- 英語の先生や AET の先生と積極的に英語で会話をし、より多くの英語表現を学びましょう。
- 予習、復習を必ずし、ノートやワークなどを使って学習事項の整理をし、理解を深めましょう。

英語は毎日こつこつと学習して身につける教科です。試験前だけまとめて勉強しても身につけません。

- 英語が苦手な人はまず、単語を書いて (+ 発音して) 覚えることから始めましょう。そして、文章のしくみを覚え、たくさん例文を覚えるようにするとよいでしょう。

音 楽 2 年

教科の目標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
-------	---

評価規準

評価の観点	評価規準	方法
知識及び技能	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○実技発表 ○発表・プリント等の提出物 ○期末テスト ○学習時の観察
思考力、判断力、表現力等	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○発表・プリント等の提出物 ○期末テスト ○学習時の観察
学びに向かう力、人間性等	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ○学習時の観察 ○発言・プリント等の提出物

使用教科書・使用教材

<ul style="list-style-type: none"> ○教芸 中学生の音楽 2—3 上・下 ○教芸 中学生の器楽 	<ul style="list-style-type: none"> ○箏、和太鼓、リコーダー、鑑賞資料、鑑賞用CD、DVD、BD、合唱パート別CD
--	---

「教育に関する3つの達成目標」との関連

<p>規律ある態度で授業を受け、音楽に関する表現や発表、鑑賞する態度をしっかりとさえる。「みんなができる、みんなのできる」の実感を持たせる。</p>
--

【第2学年】標準授業時数 35時間

	学 習 内 容	学 習 の ポ イ ン ト【評価方法】
一 学 期	○発声練習	・姿勢、口形、のど等の基本をふまえ、充実した響きのある歌声で表現する。 【活動観察、演奏聴取】
	○歌唱「翼をください」	・基本的な発声や言葉の発音などを理解し工夫して歌う。 【活動観察、演奏聴取】
	○鑑賞「フーガ ト短調」	旋律が味わっていく面白さを味わう 【活動観察、発言内容、プリント】
	○歌唱「夏の思い出」	・旋律の音の動きを理解し、表現を工夫して歌う。 【活動観察、演奏聴取、発言内容、プリント】
	○器楽 リコーダー	・曲想を感じ取り、曲想にふさわしい音色やフレーズの表現を目指して表現を工夫する。 ・リコーダーの運指、タンギングや息の使い方の技能を身につける ・高い音の奏法に合わせた演奏の仕方を身につける。 【活動観察、演奏聴取】
	○合唱コンクール曲 ↓	・歌い合わせる喜びを感じ、意欲的に合唱表現する。 ・曲にふさわしい表現を工夫し、合唱曲を美しく歌い上げる喜びを知る。 ・歌い合わせる喜び、発表しあう楽しさ、充実感を味わい、かつ、互いの努力を認め合う。 【活動観察、演奏聴取、発言内容、プリント】
二 学 期	○鑑賞「交響曲第5番ハ短調」 ↓ ○器楽 リコーダー	・曲の構成を理解し、曲の雰囲気を感じ取る。 【活動観察、発言内容、プリント】 ・アルトリコーダーの運指を確認し、重奏の楽しさとハーモニーの美しさを味わい、表現する。 【活動観察、演奏聴取】
三 学 期	○鑑賞 歌舞伎「勧進帳」 ○歌唱「サンタルチア」	・日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わう 【活動観察、発言内容、プリント】 ・曲想を生かして表情豊かに歌う。 【活動観察、演奏聴取】

第2学年美術シラバス	使用教科書	開隆堂「美術2・3」	担当教員	小原
------------	-------	------------	------	----

【学習の目標】 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ① 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- ② 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- ③ 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【授業中のポイント】

- ・授業で使うものの準備をする。(→忘れると何もできない。限られた時間を大切に。)
- ・集中して制作に取り組む。(→より良い発想・作品につながる、ケガや失敗が少なくなるなど、メリットが沢山あります。)
- ・発想する際も制作する際も、手をできるだけ止めない。(→思わぬアイデアに繋がったり、上手く作れたりすることにつながる。)
- ・制作途中でも、授業終わりなどに周りの生徒の作品を見合い、お互い良い刺激をもらう。(→高め合おう！)

【家庭学習のポイント】

- ・常にアンテナを張ることを心がけましょう。自分は何が好きなのか、それはどうしてなのか。何かをキレイだな、いいな、と思った瞬間を覚えておいて、後でそれを分析する。そんなことの積み重ねが、美術で作品を制作する際にとても大切になってきます。

【成績の付き方】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう人間性
評価するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・人物クロッキー ・作品の完成度 ・材料用具を巧みに扱った結果の作品の美しさ ・色・形・素材等の特性を理解している選択か ・・・等 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ ・明確な作品の主題(テーマ性) ・豊かな発想、テーマを工夫して表現しているか ・DVD鑑賞カード ・・・等 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く最後まであきらめず制作しているか ・知識、技能、思考力、判断力、表現力を巧みに使った結果が提出物全てに表れているか ・提出期限を守れない人、授業に本気で取り組まない人等は減点します

【1年の制作のおおまかな流れ、補足】

1学期・・・オリエンテーション、想像(空想)画

2学期・・・あかり(照明・立体)

3学期・・・マイマーク(デザイン)

※1年を通して、授業の最初の5分間でクロッキー会を行います。

※学期の終わりや制作の途中に、学びに関連したDVDの鑑賞を行います。

※持ち物、授業の受け方、評価の付け方の詳細は、授業中に説明します。

【学校教育目標】

- (1) 真理を求め、進んで学習する生徒
- (2) 自ら考え、責任を持って行動する生徒
- (3) 心身ともにたくましい生徒

【保健体育科の目標】

- ・運動に親しみ、自主的・自発的に学習に取り組む生徒の育成。
- ・自他の健康や安全に留意して、健康の増進と体力の向上に努める生徒の育成。
- ・発達段階に応じた技能を習得し、運動の特性や楽しさを味わうことのできる生徒の育成。

【授業】

体育・・・規律を確立させ、自主的、主体的に学ぶ。得意不得意に関わらず、自ら課題を見つけ、その解決にむけて個々のスキルアップを目指す。その中で、仲間との関わりあいを大切にすることでコミュニケーションを学んだり、声を出して体を動かすことで、前向きな気持ちや立ち振る舞いなどを質の高いものにする。また、科学的側面からも運動をとらえ、生涯にわたってなんらかの形でスポーツに親しむ姿勢を育てる。

保健・・・人間の体、健康や環境などについて発達段階に応じた学習をする。調べ学習を増やし、探究的に知識を深めていく。また、明るく豊かな生活を送るための態度が身に着くようにする。

【学習内容】

1 学期	2 学期	3 学期
<p>■体育に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝霞三中の体育について <p>◆体づくり運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備運動、整理運動、補強運動 ・自校体操 ・新体力テスト <p>◆陸上 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短距離走、リレー ＜体育大会に向けて＞ ・走り幅跳び <p>◆器械運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・跳び箱運動 ・マット運動 <p>◆水泳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水についての理解 ・平泳ぎ、その他 <p>■保健</p> <ul style="list-style-type: none"> 傷害の防止 	<p>※水泳のつづき（気候による）</p> <p>◆球技 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・バレーボール <p>◆陸上 II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長距離走 <p>■保健</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病の予防 <p>◆武道、ダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●武道 ・柔道 ●ダンス ・創作ダンス 	<p>◆武道、ダンスの入れ替え</p> <p>■保健</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 <p>◆球技 II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー ・バスケットボール <p>◆球技 III</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・サッカー

【評価について】

各単元の評価規準に準じて、①知識・技能②思考力・判断力・表現力③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点について評価を出す。各単元の評価を総合的に見て学期ごとの評価を出し、それをもとに評定を出す。

学校教育目標

- ・ 真理を求め進んで学ぶ生徒
- ・ 豊かな心を持ち、理性的な言動をとる生徒
- ・ 心身をきたえる生徒

技術・家庭科の目標

技術分野	ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。
家庭分野	衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

生徒に頑張ってもらいたいこと

- ①身近な生活から課題を発見し、自ら解決できるように創意工夫してみよう。
- ②生活の自立に必要な基礎的・基本的な事項を確実に身につけ、活用できるようにしよう。

学習内容

	技術分野(後期)	家庭分野(前期)
前期 (1 学期 ～ 2 学期 途中)	C エネルギー変換の技術 1 私たちの生活とエネルギー変換 ・ 製作品の構想と設計 ・ 社会、環境とのかかわりとエネルギー変換と利用 ・ エネルギーとエネルギー変換 ・ エネルギー資源の種類 ・ エネルギー変換の効率 ・ 電気エネルギー ・ 電気機器への利用 ・ 動力伝達の機構とその利用 ・ 動力伝達のしくみ ・ 運動を変化させるしくみ ・ 私たちの生活とエネルギー変換 ・ エネルギーとエネルギー変換 ・ 電気機器の利用 ・ 電気機器の安全な利用	B 食生活と自立 1. 健康と食生活 ・ 食事の役割について考える ・ 生活のリズムと食事 ・ 中学生に必要な栄養 ・ 食事の計画 2. 食品の選択と保存 ・ 生鮮食品の選び方 ・ いろいろな加工食品 ・ 食品の安全と情報 ・ 地域の食文化と和食 3. 調理をしよう ・ 調理の基本(実技テスト) ・ 調理の計画 肉の調理 魚の調理 野菜の調理
2 学期 後期 (2 学期 途中 ～ 3 学期)	D 情報の技術 1 情報とわたしたちの生活 ・ コンピュータと情報処理 *2 学期中間テスト後に技術と入れ替え	C 消費生活 1. 家庭生活と消費 ・ 家庭生活と消費 2. 購入・支払いと生活情報 ・ 消費者被害と消費者の自立 ・ 売買契約と消費者を支える仕組み